

令和6年度 第4回牧区地域協議会

日時：令和6年8月20日（火）

午後6時30分～

会場：牧区総合事務所301会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 牧区総合事務所長あいさつ

4 報告事項
地域協議会正副会長意見交換会について

5 協議事項
4区地域協議会委員合同研修会について・・・資料NO. 1-①、1-②

6 自主的審議事項
(1) イタヤカエデの講演について・・・・・・・・・・資料NO. 2

(2) 今年度審議する内容について・・・・・・・・・・資料NO. 3

7 その他（連絡事項）

8 閉 会

目的

- 中郷区、清里区、板倉区、牧区の地域協議会委員が一堂に会し、共通のテーマによる研修(有識者などによる講義など)を行うとともに、日ごろの活動状況などについて情報を交換することによって、委員の資質向上を図ることを目的に実施する。

開催日時・会場等

- 日時 令和6年11月15日(金)15:00~17:15
- 会場 牧湯の里深山荘(牧区宇津俣)
- 対象者 中郷区、板倉区、清里区、牧区地域協議会委員及び各区事務局 計約70名
- 交通手段 市バスで会場と各区総合事務所間を送迎

17:15~
19:00

内容

15:00~
16:00

①各区地域協議会活動報告

1.4区の風景、特産品などを紹介する動画の放映

2.各会長からの活動報告

※委員改選年であり、各区での自主的審議等が緒に就いたばかりであることが想定されるため、各区の魅力紹介を含む活動報告とし、②の研修内容につなげていく

※動画は各区事務局の協力を得て、牧区総合事務所にて撮影・編集

②研修

テーマ「ふるさと納税制度を活用した上越市の取組」(仮)

第1部 ふるさと納税に関する上越市の取組について

講演 上越市総合政策部総合政策課ふるさと応援室 大谷室長

- ふるさと納税制度の概要
- 本市におけるふるさと納税の取組状況
- 4区での返礼品事例

第2部 地区内における取組事例の紹介

- 4区内における、ふるさと納税制度を活用した関係人口の創出・拡大を図る取組の事例を2点ほど紹介

16:00~
17:15

情報交換会

会場:研修会場と同じ
会費:6,000円程度



牧湯の里深山荘

牧区地域協議会委員からの提案

提案テーマ 「地域おこし」

第1部 パネルディスカッション「地域おこしにかける」

牧区内で地域おこしにかける方々をパネラーに迎え、活動内容や今後への想いを語り合う。

第2部 講演「情報で興す地域社会」

講師 仮想山古志プロジェクト

伝統的な特産品であり、世界から注目されている「錦鯉」をモチーフとするデジタルアート「Nishikigoi NFT」を購入した人に電子住民票を発行し、世界規模の関係人口創出と今後の村おこしへの参画(山古志DAOによる共同運営)を図る取組を学ぶ。

委員提案に関係する市の取組

上越市第7次総合計画で掲げる将来都市像
「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」
の実現に向けたまちづくりの基本目標の一つ

魅力と活力があふれるまち

【方針】

地域に根付き、新たな価値を創り出す産業の活力を高めるとともに、誰もがやりがいを持って働くことができる環境を整えるほか、多様な地域資源を磨き上げ、その魅力の最大化を図りつつ、広く内外に伝える中で新たな交流が生まれていく、魅力と活力があふれるまちを目指します。

【令和6年度の取組例】

首都圏における
上越市の魅力発信

ふるさと納税の
取組推進

ふるさと応援室の
新規設置

「人口減少」という地域課題への対策である
「地域おこし」の展開に向けて、

- ・ 市民にとって身近な内容であること
- ・ 市が重点的な取組として推進していること

「ふるさと納税制度の活用」を研修テーマに設定

「ふるさと納税」は全国に広く浸透した制度であり、当市の関係人口・交流人口の創出・拡大のターゲットとなり得る首都圏住民の利用が多いほか、既に返礼品の提供に取り組む市民もいることから、身近に取り組みやすい「地域おこし」の一策と認識

⇒ 本研修を契機として、各区で「地域おこし」に向けた議論の展開と、ふるさと納税制度を活用した取組の促進を企図

イタヤカエデの講演について

イタヤカエデの山里づくり事業(令和6年度地域独自の予算事業)

事業概要

- 牧区に自生するイタヤカエデ及び樹液の加工品であるメープルシロップの活用による地域振興を促進し、区内の新たな産業や雇用の創出につなげるため、地域活性化に取り組む意識の醸成を図る講演会等を開催する。
- 実施主体: 上越里山倶楽部(提案団体: 牧区地域協議会)
- 予算額(市補助金額): 90千円



イタヤカエデの樹木

内容(予定)

1. 日時 令和6年10月27日(日)9:30~11:30
2. 会場 牧コミュニティプラザ
3. 内容
 - ◆ 講演「イタヤカエデの山里づくり」
 - ◆ アトラクション
 - メープルシロップ、樹液コーヒーの試食
 - イタヤカエデ苗木の配布
 - 木エワークショップ
 - 牧区に自生する木10種類の展示
 - イタヤカエデ分布MAPの展示
4. 周知方法
チラシの区内配布、区だより掲載、報道機関への情報提供 等

地域協議会の役割(案)

- イベント共催
- 運営スタッフ
前日準備、当日運営
(各4, 5人程度)
- 有志の皆様による協賛金提供

等

■ 自主的審議において課題を抽出し、三つの項目を確定（令和6年1月23日）

体験・移住

【目標】

- ・豊かな自然と暮らしの体験を通じて、牧区を広く知ってもらい、地域の人と触れ合う機会を創出し、空き家を活用した移住促進を図る。

- ①利用できる空き家の情報収集（町内会長を通じて聞き取り等）
- ②体験メニューの検討
- ③体験受入体制の検討
- ④区内巡回体験ツアープログラム計画、区内施設の有効活用
- ⑤体験ツアー参加者の宿泊先検討
- ⑥地域の情報発信（イベント、風景、人、食）

継続協議

農業・林業

【目標】

- ・牧区の農地を守るため、中心となる担い手を確保する。
- ・牧区の特産品及びメープルシロップの商品化を目指す。

<農業>

- ①担い手(個人経営農家)による検討会の開催
- ②新たな組織体制づくりに向けた学習会及び講演会を実施
- ③区内の組織体制の検討

継続協議

若手農業者で組織されているJA青年部等と牧区の農業振興について意見交換会を実施（R5.12.3）

<メープルシロップ>

- ①事業内容について説明

イタヤ（梨本氏）から事業内容について説明を聞く。（R5.5.23）

- ②商品化及び雇用の場としての検討
- ③イタヤカエデの植栽

<林業>

- ①根曲がり杉活用事業

外出支援

【目標】

- ・高齢者等が地域で安心して暮らせるための外出支援を強化する。

- ①コミュニティバス活用の通知

令和4年10月から実証運行実施、令和5年4月から本運行開始。引き続き乗車方法等の周知を強化する。

- ②買い物支援事業拡大の検討

牧振興会で冬期間限定（1月～3月）毎週月・木に買い物支援事業を実施していることから、回数増の依頼を含め、牧振興会と協議を実施する。

- ③JA店舗の存続に向けて協議

（地場産販売スペース設置等）
総合事務所がJA店舗関係者と状況把握を行う。

済

済

済